

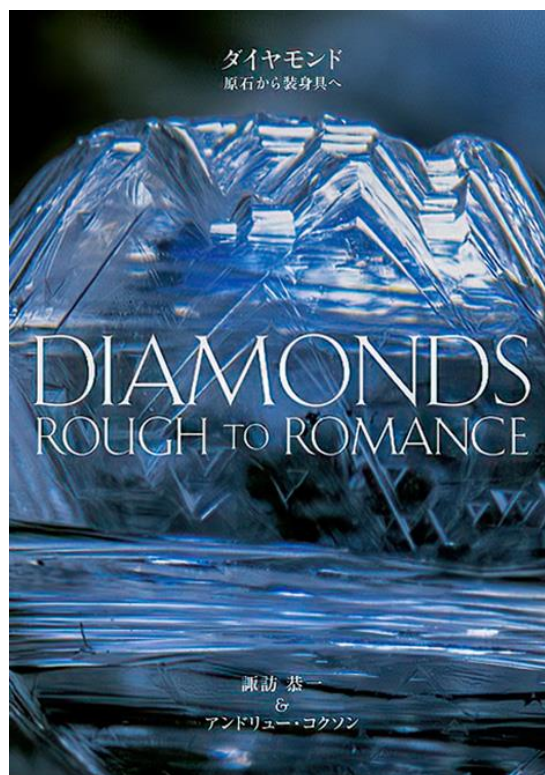
演題『ダイヤモンド～原石から装身具へ～』

ダイヤモンド原石と研磨後の結果

2009 年、世界文化社より、デビアス社のアンドリュー・コクソン氏との共著で『ダイヤモンド 原石から装身具へ』を出版しました。

本書は、アントワープで原石を仕入れ、日本で撮影を行い、その後再びアントワープに送り返して研磨を施し、再輸入して研磨後の写真を撮影する、という工程を繰り返して制作されました。

今回は、その中から、70～71 ページに掲載されたロシア産原石と研磨後の結果を捉えた 18 枚の写真を用いて、ダイヤモンドの内側に迫ってみたいと思います。



諏訪 恭一（すわ やすかず）先生 紹介

1942 年東京都生まれ。慶応義塾大学卒業。65 年米国宝石学会（GIA）宝石鑑別士資格所得（日本人第一号）。諏訪貿易会長。国際貴金属宝飾品連盟色石委員会副委員長、国際色石協会執行委員などを歴任。2022 年国立科学博物館特別展『宝石 地球がうみだすキセキ』監修。『決定版 宝石』（世界文化社）、『価値がわかる宝石図鑑』（ナツメ社）、『知っている人は得をしている宝石の価値』（新潮新書）など著書多数。